

肺性心疾患	S1	S2		獲得目標	S1 症例数	S2 症例数	指導医評価
肺血栓塞栓			主治医として、診断、治療できる。	臨床症状の経過、身体所見などから、静脈血栓生成の誘因を評価し、検査をオーダーすることができる。 CT、エコー画像から、病態を説明することができる。 適切な抗凝固療法を選択することができる。	1	3	
肺高血圧症			主治医として、診断、治療できる。	肺高血圧症の WHO 分類を理解する。 肺高血圧症に対する薬物療法することができる。 肺高血圧症の病態、予後を説明できる。	1	1	
肺動脈バルーン拡張術			見学。経験がなくても、知識を要する。	慢性肺動脈血栓塞栓症の病態を理解する。 肺動脈バルーン拡張術の効果、合併症を理解する。	1	1	

静脈リンパ管疾患	S1	S2		獲得目標	S1 症例数	S2 症例数	指導医評価
上大静脈症候群			指導医の下、診断、治療できる。		1	1	
血栓性静脈炎、深部静脈血栓			主治医として、診断、治療できる。	臨床症状の経過、身体所見などから、静脈血栓生成の誘因を評価し、検査をオーダーすることができる。 CT、エコー画像から、病態を説明することができる。 適切な抗凝固療法を選択することができる。	1	3	
下大静脈フィルター			指導医の下、診断、治療できる。	下大静脈フィルターの適応を理解する。 下大静脈フィルター留置術を行うことができる。 下大静脈フィルター留置における合併症に対応できる。	1	1	
静脈瘤			主治医として、診断、治療できる。	下肢静脈瘤の診断、治療方針を決定することができる。	1	3	
リンパ管炎、リンパ浮腫			見学。経験がなくても、知識を要する。	リンパ管炎、リンパ浮腫の病態を理解する。	1	1	